

第301号

(平成29年3月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp

大阪府市場だより



絵：「トビウオ」磯野 由美（磯丸運送）

府・管理センター等の報告を協議 定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が3月16日9時から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長（府水産物卸協同組合理事長）の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、府の菅野次長から、現在府議会において審議中の平成29年度府市場施設整備にかかる予算案の概要説明があり、実施の際の協力を依頼された。↓「大規模改修費は6件で計4億2458万3千円。①高圧受変電設備改修工事が3件・一般加工場工事監理委託を含めて8060万3千円、冷蔵庫棟Ⅱ同1億9143万8千円、管理棟Ⅱ同1億2888万5千円。②直流電源設備改修実施設計委託6042千円、③青果A4コア荷物昇降機設備改修工事実施設計委託8250千円、④水産仲卸棟東系統冷却水設備改修工事実施設計委託9365千円。次に、計画修繕費が5件で計1億8176万6千円。内訳は①水道計量器取替工事②その他一般修繕（電気、機械、建築等）③管理棟屋上防水修繕工事④管理棟外部窓面台修繕工事⑤立体駐車場塗膜防水改修工事。なお③から⑤は管理センターに依頼し実施。」

山口議長から、受変電設備工事についての停電事故が2年にわたって発生しているので、工事実施に当たっては十分注意いただくよう要請してもらいたいと述べられた。

議題2、管理センターの宮前統括から、2頁のとおり報告があった。特に、29年度の管理センターの重点事業として、①未改修トイレの整備として、管理棟5～7階6か所を実施②平成24年4月から停止している管理棟エレベーターの稼働③発泡スチロール減容機の更新④分煙コーナーを整備し、分煙の

定例常駐代表者会議

徹底を図る。このため、業務規程に基づき市場内への入場禁止処分も弁護士のリールチェックを受けて対応を考えた。⑤省エネルギー、LEDへの転換でスマート市場の実現。⑥廃棄物排出量、処理費用の抑制、さらに削減。⑦不法投棄の阻止。現在101台の防犯カメラを設置。引き続き抑止に努め、警察への告発や条例による市場内への入場禁止も検討したい。⑧評価委員会や場内の競争力強化研究会でも指摘されている荷捌きスペースの確保を図るため外周道路や大屋根下の活用⑨場内での料理教室開催の検討について説明があった。

山口議長は、「青果関係者のご協力もあり、ごみ問題について前年度並みに追いついた。お礼申し上げます。」と述べられた。

議題その他で、三木福利厚生部会長から、卓球の練習場所（7階会議室前ホール）について要望があり、賛同を得て実施方法等を検討することになった。また、手芸教室も10名を超える方に参加いただいており、更に輪を広げていきたいと報告された。

中村市場長は開会中の府議会における市場関係の動きとして、一般質問において、松本利明府議が指定管理者制度について、また、環境農林水産常任委員会の質問において、うらべ走馬府議が府市場の輸出強化策について質問があったことを報告された。



農林水産大臣表彰

三輪 光幸氏

(株)うおいち 代表取締役社長



三輪 光幸氏

本年度の食品産業優良企業等表彰式が、3月6日、東京の霞が関で行われ、(株)うおいち代表取締役社長(大阪府中央卸売市場協会理事)の三輪光幸氏が、山本有二農林水産大臣から表彰された。

この食品産業優良企業等表彰は、食品産業センター及び食品流通構造改善促進機構が国民経済の発展及び国民生活の向上に重要な役割を果たしている食品産業

に關し、食生活ニーズに対する的確な対応、流通の合理化等に、顕著な功績をあげた者に対して、農林水産大臣賞等を授与するもの。三輪氏は、卓越した指導力により、食の安全・安心に関する諸問題の解決に率先して取り組み、水産物流通における安全・安心の確保に多大な貢献をされた。(例えば、平成24年ごろから生じた豆アジやシラスにふぐの稚魚が混入したまま流通する事案につ

いて、主導的に対策に取り組むとともに、大学の研究者に調査を依頼し、「仮に混入したシラスを食しても健康被害はない」との結果が学術誌に発表される等の学術成果を得た。)

水産物卸売業者の立場から、供給面では水産加工流通施設の整備、資源の保全と持続的利用の推進に尽力し、需要面では、小学校おさかな学習会や学術セミナー、Fisheryグループの開催等を通じて、水産物の消費拡大と魚食普及に貢献された。市場の活性化を図るため、自社が有する産地情報や消費動向を卸売業者等に提供すること等により市場全体の健全な発展に貢献された。

三輪氏は、これらの食品流通部門における顕著な功績が認められ、農林水産大臣賞を受賞された。

新経営展望案を承認 府市場活性化協議会

大阪府中央卸売市場活性化協議会(議長 小野雅之神戸大学大学院農学研究科教授)が、3月16日に管理棟会議室で開催され、平成29年度から33年度までの5か年を対象期間とする経営展望(府市場中期経営計画2017〜21年度案)について審議し承認された。



中村大介府中央卸売市場長は、あいさつで、「今回が3回目となるが本日の審議をもって成案とさせていただきたい。なお、2月に開催した運営取引業務協議会での意見を踏まえ、第2回目の活

性化協議会から変更した点として、『取扱高の見通しと達成目標』の箇所、タイトルを『取扱高について』、サブタイトルも『取扱高の実績と見込み』として内容の修正を行った。よろしく審議をたまたわりたい。』と述べられた。

菅野府次長が概要を説明し、①新経営展望は、国の基本方針に掲げられている市場運営の考え方や、府市場がこの5年間に取り組んできた成果を踏まえ、より効率的・効果的な市場の在り方に向け、市場関係者が一丸となって取り組んでいくことを明確にした。②策定のねらいは、開設者指定管理者場内事業者が一丸となつて市場の活性化に取り組むための指針とし、府市場が目指す将来像とその実現のための基本戦略及び行動計画を府民や生産者、小売り業者などに広く明ら

かにする。③府市場の現状として、安全・安心、健康・食育の関心の高まりや人口減少、一人当たりの消費量の減少の中で、川上の量販店の増加と規模拡大や農産物・水産物の生産量の減少、産地出荷団体の大型化などを詳細に明示。④このよ

うな中で、府市場は高速道路の結節点に近く、大消費地に近接していること、立地条件や施設設備についても敷地が広く活用可能な未利用地が存在しているなどの強みの反面、施設の老朽化といった弱みを有している状況を踏まえ、市場の強みを生かし、課題を解決するための8つの方向性を導き出している。⑤これらの基本戦略として定め、それに基づく取り組み(行動計画)を実施することにより、将来像である競争力のある市場の実現を目指す。行動計画は、取組期間や主体を定めた具体的な内容が決められており、実現可能性を担保したものとなっている。⑥取扱数量の見込みは、直近10ヶ

年(平成19年〜28年)の前年度比の平均値から、青果は11%、水産は39%減少の傾向が今後も続くこと仮定し、33年度は青果209千トン、水産367千トン。また、取扱金額の33年度の見込みは、青果61,301百万円、水産34,763百万円。今後の取扱高は、厳しい状況が続くと考えられるが、場内一丸となつて行動計画に掲げる取組みを推進することで28年度と同水準を維持していくことを目指す。

委員からは、売り場の再配置や2階スペースの有効利用、物流ハブによる輸出の拠点化、場内搬送ルートの効率化、ゴールドチェーン化の推進など、行動計画をさらに具体化するためのアイデアが述べられ、新経営展望を丸となつて実践していく意気込みを述べられていた。

終わりに、中村市場長から、委員の尽力に感謝されるとともに、この経営展望を着実に進めて、競争力ある市場の実現に努めたいと述べられた。

基本戦略	
①	流通の変化に対応した「機動性」のある市場 広域的な集荷・転送・分荷機能の強化
②	ニーズに対応した「付加価値」を重視する市場 ゴールドチェーン化の推進、加工機能等の充実
③	「民間活力」をフルに活用する開かれた市場 指定管理者による効率的な運営、外部活力の導入
④	場内外の連携強化で「活性化事業」に取り組む市場 産地や量販店、大学等との共同事業の展開
⑤	場内事業者の「自律的な取組み」を重視する市場 場内一丸での場内ルール順守の徹底

管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告があった。(数字は税抜)

- 活性化事業 □ H28年度執行見込額・1億400万円 □ 当初提案額5,800万円 □ ハード事業 ● 青果仲卸店舗屋号看板改修(水産完了) [工期] 8/31〜3/20 [事業費] 1420万円 □ 東門自立サイン設置 [工期] 2/24〜3/23 看板建て方 3/10完了 [事業費] 760万円
- 重量制限(水産エリア6.5トンまで、青果エリア15トンまで) [看板設置] 13か所 [工期] 3月下旬 [事業費] 530万円 □ ソフト事業 (※印はせりちゃんが活躍) ● 社団法人韓国食品流通研究院(市場関係者)12名、3/23 ● 大阪府健康づくりアワード表彰式(グランフロント) 2/22 ● イオン市場直送セトル(水産物) ※
- 四條畷店 2/18
- 茨木店 3/18 (写真)
- 修繕事業 □ H28年度執行見込額・290件、1億1300万円(当初提案額5,000万円) □ 進行中(予定)の事業 ○ 管理棟 6、RF階パイプスペース内配管修繕工事(3/1〜3/31) ○ 管理棟屋上防水修繕(2/22〜3/25) ○ 青果:水産軒下通り丸柱塗装修繕(2/27〜3/21) ○ 青果:水産関連店舗H鋼塗装修繕(3/1〜3/30) ○ 水産大通り西側通路舗装修繕工事(3/19、20)
- 水産青果棟屋上塔屋壁修繕(サイン文字)(2/25〜3/30) ○ 管理棟7階大会議室壁他修繕(2/27〜3/27) ○ 管理棟1階展示ホール床面修繕(3/5〜3/29) ○ 青果卸棟1〜7通り間屋根防水修繕(3/14〜3/31) ■ 大阪府依頼



流通状況調査結果を発表

府中央卸売市場と指定管理者・大阪府中央卸売市場管理センター(株)では、昨年10月1日を調査対象日とした市場取扱品流通状況調査結果を発表した。

この調査は、同市場を経由して供給される生鮮食料品等の流通の実態を地域別、業態別に把握するもので、調査日の取扱件数は4616件(前回比95.4%)で、数量は1088トン(同85.5%)であった。

《以下いずれも数量ベース》
 ◇地域別搬出状況…供給圏(三島豊能北河内・大阪市の一部・東大阪市)50.6%(前年比+7.9%)、供給圏以外の大府府17.0%(+3.5%)、他府県32.4%(+11.4%)。他府県の内訳は、兵庫県9.3%(▲3.2%)、京都府8.4%(▲6.3%)、滋賀県3.0%(▲2.3%)、奈良県2.0%(▲0.1%)とな

り、前年度まで最も高かった京都府と兵庫県が入れ替わっている。
 ◇種類別の地域別搬出状況を見ると、供給圏内は、野菜が56.0%(+6.1%)、果実が51.0%(+7.3%)と半分以上を占め、生鮮水産物は40.5%(+8.4%)となり、水産物の供給圏外への搬出割合が高かった。

◇業態別搬出状況は、スーパーが61.6%(▲3.4%)で一番多く、次いで一般小売業者17.6%(▲1.5%)、その他(地方卸売市場等)13.5%(+4.2%)、給食業者2.8%(+0.8%)、飲食業者1.8%(▲1.2%)であった。
 ◇取扱品目を主要な搬出先であるスーパーと一般小売業者で比較してみると、野菜ではスーパーが62.8%(+0.8%)、一般小売業者が19.4%(▲0.3%)

(注)果実では、57.7%(▲15.6%)と15.8%(+1.2%)、生鮮水産物では、68.3%(+2.0%)と14.5%(▲6.4%)、加工水産物では、39.3%(▲19.5%)と16.3%(▲5.5%)となっており、加工水産物を除きスーパーのシェアが過半数を超えている。

◇仲卸業者の配達状況…「買出人の自動車まで」が65.2%と最も多く、次いで「買出人の店舗等まで」が29.3%、「持帰り」が4.9%となっている。品目別では、青果、水産物ともに「自動車まで」が最も高いが、青果(野菜60.2%、果実61.9%)に比べて、水産物(生鮮69.4%、加工66.3%)のほうが高くなっている。

◇仲卸業者の加工状況…件数から見ると、「加工なし」が84.5%と高くなっている。「加工あり」の割合は、「加工水産物」(25.0%)が最も高く、次いで「野菜」(18.4%)、「果実」と「生鮮水産物」が同じ11.9%の順になっている。

業態別搬出数量状況

(単位:%)

	スーパー	一般小売業者	小計	飲食業者	給食業者	加工業者	その他
野菜	62.8	19.4	82.2	1.6	4.2	2.0	10.0
果実	57.7	15.8	73.5	0.8	1.9	0.6	23.1
生鮮水産物	68.3	14.5	82.8	3.5	0.1	4.6	9.0
加工水産物	39.3	16.3	55.6	1.0	0.6	10.8	32.0
合計	61.6	17.6	79.2	1.8	2.8	2.7	13.5

衛検査だより

患者2千人超

焼き海苔で食中毒に

食品衛生検査所

先月、和歌山県での発生を皮切りに、次々と発生したノロウイルスの大型食中毒。原因食材が同じ「きざみのり」という報道に驚いていたら、大阪府内で発生した食中毒でも同じきざみのりが使われていたことが分かりました。香りと彩りにほんの少々振りかけるきざみのり、1人前1gほどの海苔で食中毒を起こすノロウイルスの感染力に今更ながら驚かされます。

海苔は海岸に近い海で栽培されます。遠浅の海には支柱を立て、海の深いところではいかに、胞子を付けた網を張って海苔を育て

ます。収穫した海苔は全自動海苔製造機械で抄き、板状の海苔となります。

海で栽培されるならカキと同様、海苔にもウイルスがついてしまうのかと思いますが、焼きのりになる工程で200度近い高温で加熱処理されるため、出来上がった焼きのりにはウイルスは残っていないと考えられます。

ではなぜこのような大事件に? 今回原因施設とされたきざみのり加工施設の拭き取り検査で、海苔の裁断機やトイレの周辺からノロウイルスが検出されました。ま

た、細切加工の際、衛生手袋を使用せず素手で海苔を裁断機に入っていたことも判明しました。

裁断機は、事務機器のシュレツダーのようなもので2ミリ幅の溝の付いたカッターです。この溝が一部でも汚染されれば、裁断の際に汚染されたきざみのりが混ざってしまう。

これまで乾物が食中毒の原因食品となる事はまず考えられませんが、油断は禁物、ほんの少しの汚染も許されません。

当所では今年度700検体余りの食品をいただき、食品ごとに必要な項目について、細菌理化学合計1万件以上の検査を実施しました。細菌検査は、施設や器具のふき取り検査も併せると200

0件余りになりますが、ノロウイルスの検査は実施していません。

しかし、食品や器具に糞便由来の細菌や手指に付いている細菌が検出されれば、そこにはノロウイルスも付いている可能性があります。

検査の結果を参考に、器具の洗浄や手洗いをしっかりとすることで食中毒を予防することができます。

今年も言い続けてきた

食中毒予防の3原則

つけない、ふやさない、殺菌
 来年度も食品や施設の衛生について役に立つ情報を発信して参ります。



28年度計量器検査が終了

府市場関係者が保有する計量器に対する28年度の定期検査は、市場協会所属の信岡計量士によって昨年10月から実施し、3月7日の府青果卸売協同組合加入店舗の検査を最後に終了した。

計量器を保有する同組合50事業所の217台の計量器を検査し、合格した213台の計量器には検査合格のシールを貼付し、取引の信頼・安心の確保に努めた。



安全運転講習会を開催

市場協会安全部会(部会長・東野達雄府青果卸売協同組合理事長)では、3月17日、管理棟会議室で、茨木警察署交通課の川相係長を講師に安全運転講習会を開催した。

東野部会長から、「場内事故件数は26年度が83件、27年度が91件であったが、28年度は3月14日現在で47件と減少しており、皆様のご尽力のおかげである。しかしながら、人身事故で見ると依然7件も発生し、3月13日にもターレットの後部荷台に乗っていたお客さんがターレットから転落した事故があった。今後とも安全運転に努めてもらいたい」との挨拶があった。川相講師から春の全国交通安全運動の基本が「子供と高齢者の交

消防訓練に多数が参加

府市場の消防訓練が、管理センターの主催で3月1日に茨木市消防署の指導のもとに実施された。

午前10時に管理棟7階大会議室に、場内関係者47名が集合、中村・府市場長が「先月、埼玉のアスクルの倉庫が火事になり、12日間燃え続け、東京ドーム1個分の4万5千m³が燃えた。いつ起こるか分からない火災の時に、皆さんがリーダーとなっていただけのように実り多い訓練としていただきたい」と挨拶された。次に、AEDにつ



通事故防止」であり、全国重点が①歩行中・自転車乗用中の交通事故防止②後部座席を含めたすべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底③飲酒運転の根絶、特に4〜5時間ではアルコールが抜けないので、残酒運転はしないよう注意があった。平成28年中の府域の交通事故は37920件(前年比▲2687件)、死者は161人(同▲35人)、負傷者は45460人(同▲3021人)と減少傾向である。次に、DVDを視聴し、危険予測と回避を確かなものにする5つのポイント



いて、2班に分かれて署員による説明と参加者による体験訓練の後、火災が7階給湯室で発生との想定で、火災報知機で電気室に通報、警備室による非常放送を実際に行い、全員が階段により地上の駐車場へ避難を行い、会社・団体ごとの人員の確認を行った。最後に、1階駐車場の消火器による消火訓練にうつり、消防署員から、消火器噴射時間は15秒であることや、背丈以下の炎しか消火器では消化できないことの説明が



あり、消火には①安全ピンを抜いて②ホースをもって③ハンドルを絞って、3〜5mから等速に振り回すように噴射することを実践した。



を確認した。①一時停止交差点では停止線の直前で確実に停止し、安全を確保する。②前の車が急停止したり、減速しても、追突を回避できる速度に合わせた車間距離を保つ。③相手が危険な行動をとっても、事故を回避できる慎重な運転をする。④飛び出しなどの可能性があるところでは、いつでもブレーキを踏めるようにする。⑤大丈夫と思っても、もう一度安全確認を行う。質疑では、後部座席のシートベルトもしっかりつけることや、停止線で一度止まってから安全確認しながら前に進むことなどを具体例で指導いただいた。



春の場内一斉大掃除を実施

府市場協会安全部会(部会長・東野達雄府青果卸売協同組合理事長)では、3月22日の午前9時から水産関係、正午から青果関係の箇所、市場関係者総出で大掃除を実施した。大掃除は、食の安全・安心の確保のため、定期的に実施しているもので、今年度4回目。



や箒による清掃や買出人駐車場の箒により清掃した後、高圧散水車を利用した水洗いなど、日ごとの届きにくい箇所の清掃をはじめ、廃材の収集と廃棄などに取り組んだ。

大阪府健康づくりアワードに協賛 府市場管理センター(株)

大阪府が府域での自主的・主体的な健康づくり活動の奨励・普及を図るために、職場や地域での活動を積極的にを行っている団体を表彰する「第2回大阪府健康づくりアワード」が2月22日に梅田のグランフロントで開催され、職場部門では、(株)関西事賞に、(株)関西事賞市居住サービス、地域部門では、健康トライ21市民連絡会が受賞した。管理センター(株)では、この活動に協賛し、表彰団体への副賞として、健康的で新鮮な食材を職場部門と地域部門の知事賞(最優秀賞)、健康大阪21会長賞(優秀賞)などの各賞受賞の16団体に贈呈し、府市場のPRに努めた。



手芸教室を開催

3月9日12時30分から協会図書室で手芸教室が開催された。9名の方が参加しており、寺前講師(大水)の指導で和氣藪々と和やかに、子供服やポーチなどの製作に取り組んだ。



新着図書案内

※はじめての刺し子 日本ヴォーグ社

※九十歳 何がめでたい 小学館

※騎士団長殺し 第一部、第二部 新潮社

Table with columns: 卸売業種名, 種類, 数量(ト), 前年比%, 金額(千円), 前年比%. It lists various goods like vegetables, fruits, and seafood with their respective sales figures and trends.